資料４－４

18歳以降の調査に向けた課題について



環境省
Ministry of the Environment

現行体制上の課題

①持続可能な調査体制に係る課題

・実施体制の整備

・人材育成

②効果的・効率的な調査の実施に係る課題

・参加者維持、エンゲージメント

・効果的・効率的な実施

・効率的な生体試料・データの保管・化学分析の推進

③調査結果の利活用推進に係る課題

・データ・試料の第三者利活用

・政策・社会実装への橋渡し、成果の社会還元及び国際連携

①持続可能な調査体制に係る課題

環境省
Ministry of the Environment

実施体制の整備

・研究成果創出促進のための体制強化

・成果の社会還元・情報発信のための体制強化

・調査対象者ライフステージの変化及び居住地の広域化を踏まえた、効果的・効率的な長期追跡体制

・長期的な人員、専門性、施設及びシステムの確保

人材育成

・人材育成・人材確保

②効果的・効率的な調査の実施に係る課題

環境省 Ministry of the Environment

参加者維持、エンゲージメント

・参加者成人後の参加継続に向けて、主体的に参加いただくための取組

効果的・効率的な実施

・共通業務の分散実施（地域特性・年齢を考慮した取組もあり）

・全国的な対面調査等の効率的な実施

効率的な生体試料・データの保管、化学分析の推進

・効率的な生体試料の保管（現状は手動、外注）

・災害リスク

・化学分析に係る実施基盤の制約

③調査結果の利活用推進に係る課題

データ・試料の第三者利活用

・データの第三者利用の推進（第三者提供実績は２件にとどまる）

・解析環境の機能強化

政策・社会実装への橋渡し、成果の社会還元及び国際連携

・中心仮説に係る研究成果の創出加速

・研究成果の社会還元（政策活用、国民への還元等）

・エコチル調査の国際的プレゼンス向上

本日御意見いただきたい事項

環境省
Ministry of the Environment

① 持続可能な調査体制について、課題の整理は適切か。
② 効果的・効率的な調査の実施について、課題の整理は適切か。
③ 調査結果の利活用推進について、課題の整理は適切か。